

胸部X線・胸部CT検査・腹部超音波検査の 精密検査を受診する方へ

精密検査となった場合は、所見によって主に次のような検査が実施されます。自覚症状がない場合も自己判断や放置せず速やかに受診することをお勧めします。

CT検査

CT検査はX線検査の一種です。X線を360度から照射し、体の中の様子をコンピュータ処理して映し出します。人体を輪切りにしたような断面画像や、立体的な画像を得ることができるので、1枚のレントゲン写真を撮るより、はるかに正確で詳細な診断ができます。

料金は3割負担で約4000円～5000円です。



MRI検査

CT検査ではX線を使って画像を得るのに対し、MRIは大きな磁石による“強い磁場”とFMラジオに使われているような“電波”を使って画像を得ます。人の体は細胞レベルでみると磁力を出しています。人の体は約7割が水分というのは聞いたことがあると思いますが、水分を含んでいる所を撮影できるというのがMRIです。



MRIは放射線による被ばくがないので、安心して検査を受けることができます。体内の様々な病気を発見することができますが、特に脳や脊椎、四肢などの病気に高い検査能力を持っています。

料金は3割負担で約6000円～7000円です。

腹部MRCP検査

MRCP検査は、MRI装置を用いて胆嚢や胆管、膵管を同時に描出する検査です。膵臓がんや胆のうがんなどの発見に有効です。胃や消化管の水分が画像に影響するので、経口造影剤を飲んでから検査を行います。

腹部超音波検査でも胆嚢、胆管、膵管を観察しますが、腹部内にガスが溜まっていたり食事が残っていると画像が見えにくく、小さな病変を描出するのが難しいことがあります。そのためMRCPを受けることでより詳しい情報を得ることが出来ます。

料金は3割負担で約6000円～7000円です。

検査を受けるときの注意

- ・ネックレスなどの金属類は検査前に外していただくようお願いします。
- ・できるだけ撮影中は動かないようお願いします。
- ・腹部CT検査や腹部MRI検査を受ける方は直前の飲食(午前受診の場合は朝食、午後受診の場合は昼食)を摂らないようお願いします。
- ・妊娠中の方や妊娠の可能性のある方はご受診いただけません。
- ・MRI検査は心臓にペースメーカーを装着している方、体内に金属のある方はご受診いただけません。

CT検査とMRI検査の違いって？

内容	CT	MRI
撮影時間	比較的短い(5~10分)	比較的長い(30分程度)
特化部位	脳・肺・腹部・骨	脳・脊髄・関節・骨盤腔内臓器
画像	骨は白く、空気は黒くみえる	骨も空気も無信号となり、区別されない
長所	撮影時間が比較的短く、容易に断層像が得られる。 頭部救急病変(出血の疑いなど)への適応が高い。 骨の情報が得られる。	放射線被曝がない。 様々な断層像を得ることができ、病変の質的評価ができる。
短所	放射線被曝がある	体内に金属(ペースメーカー等)が入っている方は、検査できない。 撮影時間が長く、狭いところに入るので閉所恐怖症の方への検査実施が難しい。 検査中、装置から大きな騒音が聞こえる。
見つけやすい病気	肺炎 肺がん 胸水 腹部腫瘍(肝がん、膵がん等) 尿管結石 腎結石 くも膜下出血 脳出血 副鼻腔炎 骨折 など	脳梗塞 脳腫瘍 脳動脈瘤 椎間板ヘルニア 胆管・膵管の異常 卵巣腫瘍 子宮筋腫 半月板損傷 靭帯損傷 脊髄損傷 前立腺がん など

ご不安・ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。